

2026年6月15日

三重県知事 一見 勝之 様

三重県原爆被災者の会

会長 山口 詔利

三重県生活協同組合連合会

会長理事 茂木 穰

原水爆禁止世界大会三重県実行委員会

委員長 西尾 比呂也

要 請 書

わたくしたちは、本日、核兵器の廃絶と世界平和を求める「ハート平和行進」を開催いたします。

1958年に始まった「国民平和大行進」は、いまや全国的な平和行動として発展し、多くの市民が平和への願いを共有しています。

2021年に核兵器禁止条約が発効し、核兵器廃絶へ向けた国際的な流れが強まりました。しかし2025年以降、核兵器の軍拡競争は再び激化し、核兵器の近代化や配備の拡大が各地で進んでいます。特に中東では、イランの核開発疑惑問題をめぐって軍事的衝突が起り、国際的な安全保障環境は深刻な危機に直面しています。

また、エネルギー資源をめぐる対立も国際秩序の不安定化を助長し、戦争や武力衝突の危険性が一層増しています。

こうした情勢は、核兵器の存在が世界の危機を深め、人々の生活と未来を脅かすものであることを改めて示しています。唯一の戦争被爆国である日本には、核兵器廃絶を世界に先駆けて訴える道義的責任があります。

三重県および県内全市町は、非核平和都市宣言を掲げ、平和行政を積極的に進めてきました。私たちは、県民とともに平和を守り、戦争が二度と繰り返されない社会を築くためのさらなる取り組みをお願いするものです。

記

- 一、 日本政府に対し、核兵器禁止条約への署名・批准を強く働きかけてください。
- 一、 被爆体験の継承と平和施策の推進、ならびに被爆者への支援の充実を図ってください。
- 一、 子どもたちが人権と命の尊さを理解できるよう、平和教育・歴史教育をいっそう充実させてください。

以上